



公益社団法人

日本PTA全国協議会

日本PTA全国協議会の取り組み



子供たちの未来の為に
歩みを止めない

公益社団法人 日本PTA全国協議会とは

公益社団法人として各都道府県と政令指定都市の53協議会から成る保護者と教職員の全国組織

日本最大の社会教育関係団体として、子どもたちの健やかな成長と教育環境の向上、社会教育及び家庭教育の充実・発展のために積極的に活動

社会教育・家庭教育の充実に向け活動

公益社団法人 日本PTA全国協議会HP参照

食育へのかかわり

1966年 学校給食用小麦の補助、教科書無償給与の要望
その後も給食に関する要望書を提出

実際の取組は各都道府県協議会・単位PTAが中心



具体事例①（京都府PTA協議会）

家庭教育研修会で講演会を実施

『「おいしい人生 食 歯 命」歯が語る。「食生活」と「社会の歪み」』のテーマで講演

食生活や口腔環境、豊かな人生のための食事を学ぶ



具体事例②（料理教室）

京料理人による「おいしいお出汁の取り方教室」

顆粒出汁に頼らずお出汁の取り方を体験型で学習

保護者からは大好評、家庭でも実践していただいている



子ども食堂の取組

地域とPTAの連携で実施しているところが多い

沖縄県浦添市の小学校PTAでは土曜に昼食提供

岐阜県大垣市では地域居場所づくりと併設し、多世代・地域交流の拠点に



第5次食育推進基本計画に向けて

食生活の大切さ、また子どもたちとのかかわりについて保護者を巻き込んだ取組の推進や展開をしていく必要がある。

家庭の味を小さなころから伝えていきたい。

スーパーや小売店など、実際の食材を手にする環境でのわかりやすいアプローチ方法を検討する必要性。

